

公益社団法人  
日本介護福祉士会

ニュース

Vol. 147

8月15日号

平成30年(2018年)



The Japan Association of Certified Care Workers



公益社団法人日本介護福祉士会

会長・新副会長 ご挨拶



会長 石本 淳也

会長の職を拝命して、1期2年があっという間に過ぎました。多くの皆様のご支援とご協力を頂きながら、介護福祉士の未来を自分たちの手で切り開くべく取り組んできたところであります。「国民福祉の向上」に寄与することを目標に掲げ、そのために我々が果たすべき役割や、実行すべきことは何かという視点で事業展開を行っていますが、まだまだ道半ば、より一層の推進と工夫が必要と痛感しております。平成30年は、介護福祉士制度創設から30周年という節目の年であります。30年という時の流れで、世の中の価値観やニーズが、複雑化・多様化しており、物事の移り変わりのスピードも目まぐるしい速さとなっています。世界に類をみない急速な少子高齢化がもたらす社会変化は、より一層のスピード感をもって対応することが不可欠です。今期においては、重点課題を掲げ、職能団体としての価値を高める取り組みを行うこととしています。例えば、訪問系・入所系・医療系といった種別に分けた専門部会を立ち上げ、それぞれの現場のニーズを汲み上げた提言に結び付けたいと思います。また、会員の皆様にとって日本介護福祉士会と顔の見える関係の中で、フラットに意見交換が出来る場作りとして、タウンミーティングを実施し、会員の皆様のリアルな声に直接触れさせていただく機会を設けます。その他にも、新研修の展開や認定介護福祉士研修の推進など、職能団体としての務めを果たすべく、より一層精進してまいります。今後とも皆様のお力添えを宜しくお願い申し上げます。

副会長 藤野 裕子

前期より全国理事をさせていただき、今期からは副会長をさせていただくことになりました。役割に対して能力が十分とは言えませんが、同じ世代の仲間が、事業所の長や主任として日夜頑張っています。周りの方のお力をいただきながら、現場の声を形にして、今の私にできることを一つずつやりたいと思います。「介護福祉士の未来は介護福祉士自身が切り開く！」というお話を石本会長からお聞きした時、とても感銘を受けました。切り開く道のりは、大変であると同時にとてもワクワクします。我々の実りある未来と国民の福祉の増進のために、できることから一步一步進めていきたいと思っています。

副会長 宮崎 則男

5月27日の定時総会により、副会長に就任しました宮崎則男でございます。介護福祉士会に入会して25年になりますが、まさか、このような立場になろうとは夢にも思いませんでした。人生は、いろいろなことが起こります。皆さんとの出会いも、介護福祉士会があればこそだと思います。

ご利用者のために、地域社会のために、私たち介護福祉士のために、そしてこれから介護福祉士を目指す人たちのために、介護福祉士会があります。人生は、いつでもどこでも、チャレンジです。

「人間万事塞翁が馬」の言葉のとおり、起こる出来事を前向きに捉えて、精一杯努力していきたいと思っています。今後とも、ご指導よろしく願いいたします。